
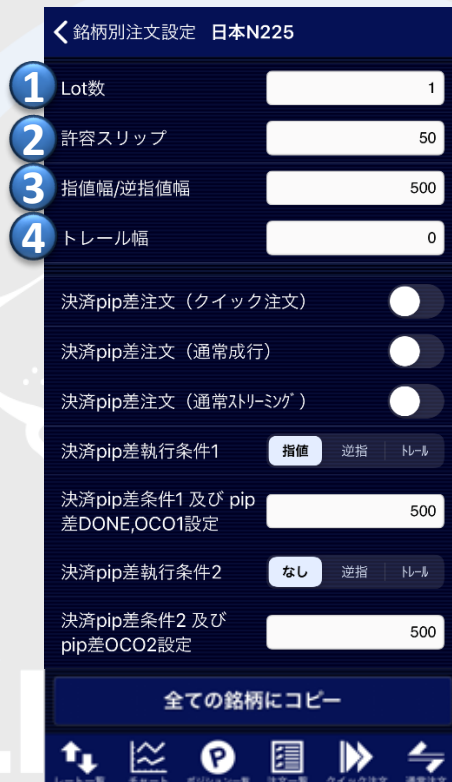


銘柄別注文設定

LION CFD for iPhone

銘柄毎に注文画面を開いた際に表示される【Lot数】・【許容スリップ】・【指値幅/逆指値幅】・【トレール幅】の数値や決済pip差の設定を行うことができます。

※画面左上の  をタップしてメニューを表示し、【銘柄別注文設定】をタップすると表示できます。




① **Lot数**
注文数量の初期値を設定できます。

② **許容スリップ**
ストリーミング注文やクイック注文利用時に適用される許容スリップの設定ができます。

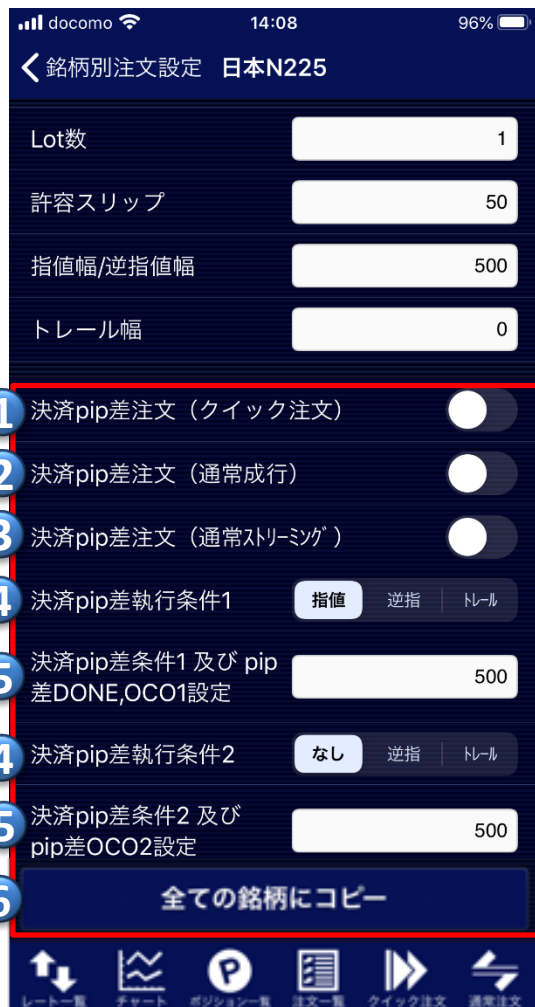
③ **指値幅/逆指値幅**
注文画面に反映される指値幅(逆指値含む)の初期値が設定できます。

④ **トレール幅**
注文画面に反映されるトレール幅の初期値が設定できます。

【許容スリップ】・【指値幅(逆指値幅)】・【トレール幅】は pip入力となります。

①銘柄別注文設定画面を開き、設定をしたい銘柄の  をタップします。

②設定画面が表示されます。



1 決済pip差注文(クイック注文)

クイック注文画面での、pip差による決済注文自動発注の発動の有無が設定できます。

2 決済pip差注文(通常成行)

成行注文画面での、pip差による決済注文自動発注の発動の有無が設定できます。

3 決済pip差注文(通常ストリーミング)

ストリーミング注文画面での、pip差による決済注文自動発注の発動の有無が設定できます。

4 決済pip執行条件1.2

決済pip差の執行条件が設定できます。執行条件の組み合わせは、5パターンが可能です。

- ① 決済pip差 指値
- ② 決済pip差 逆指値
- ③ 決済pip差 トレール
- ④ 決済pip差 指値 + 逆指値
- ⑤ 決済pip差 指値 + トレール

①～③の場合は、【決済pip差執行条件1】と【決済pip差1及びpip差DONE、OCO1設定】の設定をしてください。

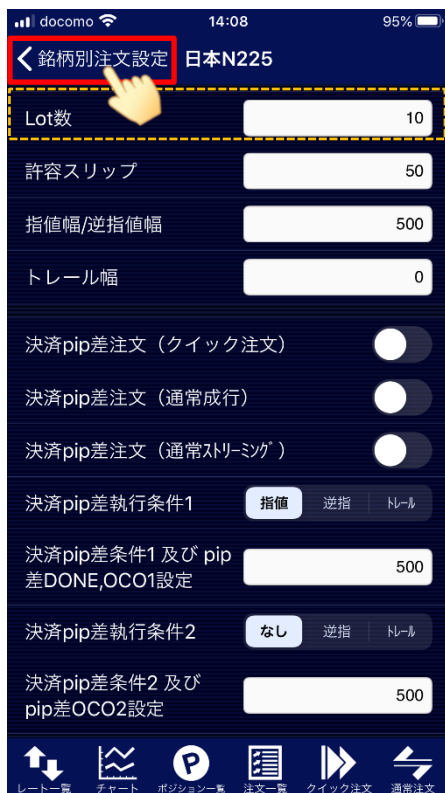
④・⑤の場合は、【決済pip差執行条件1】・【決済pip差1及びpip差DONE、OCO1設定】及び【決済pip差執行条件2】・【決済pip差2及びpip差DONE、OCO2設定】でそれぞれ設定してください。

5 決済pip差条件及びpip差DONE、OCO設定

決済pip差の値幅設定ができます。pip入力となります。


6 全ての銘柄にコピー

上段で設定した内容が全ての銘柄に反映されます。



- ③ 例えば、Lot数の数値を「10」に変更します。設定が完了すれば、画面左上【銘柄別注文設定】をタップします。



- ④ 【銘柄別注文設定】画面に戻りました。画面左上  を押しとメニュー画面に戻ります。



- ⑤ 注文画面を開いた際に表示されるLot数の数値が、常に「10」Lotで表示されるようになりました。